

2020.7

燕舞会会長 佐藤 弘美

燕舞会会員 各位

会費納入制度 アンケート実施にあたり

先般の「会費納入制度の導入」検討のお知らせに関し、会員の皆様よりいくつかのコメント、ご意見を頂戴しました。誠にありがとうございました。

以下に、①5月の「お知らせ」の中で伝えきれなかった点、② 会員からの要望、ご意見とそれに対するコメントとそれらを踏まえた提案内容の一部修正、③ アンケートへのご回答に際して参考となるデータ等をあらためてお示しましたので、内容をお読み取りの上、アンケートへのご回答、もしくは下記燕舞会 URL にアクセスしてご回答ください。宜しくお願いいたします。

<http://www.embukai.org/>

(1) 「活動支援金」を含めた会の運営資金の切迫度が今ひとつ判らない。

⇒ 典型例を下記に示します。年度により収入、支出ともに増減がありますが、不測の事態に備え、「一般会計の繰越金」を一定レベル（30万円前後）に維持することを基本としています。

収入の部

項目	金額
一般会計	
繰越金	¥250,000
活動支援金	¥20,000
*パーティー余剰金等	¥0
小計	¥270,000
特別会計	
FMドレス代過年度入金分	¥40,000
FMドレス代貸付金入金	¥40,000
小計	¥80,000
合計	¥350,000

*パーティー余剰金については、近年ほとんど発生していないことを申し添えます。

支出の部

項目	執行額
一般会計	
HP維持費	¥10,000
パーティー案内費	¥3,000
代表委員会・総会開催費	¥30,000
代表委員交通費	¥35,000
会員弔事費（臨時）	¥20,000
他大学OB会等交際費（臨時）	¥30,000
現役合宿・強化練差入れ	¥15,000
次年度繰越し予定金	¥127,000
小計	¥270,000
特別会計	
現役支援積立基金	¥80,000
会員活動助成基金（現在財源の裏付けなし）	
小計	¥80,000
合計	¥350,000

(2) 支援金が具体的にどのように活かされたのか、支援者に対するフィードバックがありません。正直、支援者の気持ちが蔑ろにされている感じがします。

⇒ 反省点です。今後は燕舞会のHPやメルマガでも明記してまいります。具体的な支出の項目については、上記の典型例をご覧ください。

(3) OBOG会からの現役支援は、FMドレス、ゼッケン、腕章、部旗、練習会用の音源その他備品等、「複数年にわたり活用できる部の財産」(特定の代にのみ負担させることが不適切なもの)に限定することをあらためて提案したいと思います。

⇒ ご指摘ありがとうございます。ご指摘の「部の財産」の耐用年数等を考慮し、「現役支援積立基金」の毎年の積立額や、一般会計繰越金を考慮の上、年会費の金額を設定したいと思います。

(4) 上記のご指摘に関連し、「夏全遠征（大阪）費補助」につきましては、従来通り会員有志のご寄付で対応する事にしたいと思います。

(5) 5月の「お知らせ」の文面を読む限り、会費納入方法1, 2共に趣旨に賛同した会員の「任意の定額納入」という理解ですね。あくまで任意であれば、金額の違いはありますが、設定金額と納付率の関係だけで、あまり差がないように思います。また、同じ任意制であるならば、方法1についても、方法2同様のインセンティブを与えるべきではありませんか？

⇒ ご指摘の通りです。今回の提案はあくまで任意の会費納入です。（従って、未納の年度があっても追納という措置は考えておりません）どのような納入方法になるにせよ会費納入者に対しては何らかのインセンティブを付与する事の是非をアンケート項目にいたします。現在、会費納入者に対し、懇親会や現役とのふれあいイベントへの参加費の割引きなどを想定しておりますが、その他のインセンティブ候補等のご意見がありましたら、是非アンケートの自由意見にご記入願います。

(6) 「会費免除の終身会員」という制度は、任意の会費納入（会費納入の有無をもって会員資格を云々しない）において、本当に必要でしょうか？今後益々、年嵩の会員が増え、且つ会費納入世代の会員数が減少した場合を危惧します。

⇒ ご指摘ありがとうございます。正直、数名の会員からも同様のコメントを頂いております。「終身会員」は位置づけも不明確なので、一旦提案から外します。（会費の納入期限に上限を設ける件については取りあえずアンケート項目とさせていただきます）

(7) 「一括納入制度」は、各種の団体や大学の学科の同窓会などにも採用されていますが、一括納入し終身会員となった後も、寄付の依頼と振込用紙が送られてきて、いささか興ざめしています。

終身会員になるまでの期間と割引率で計算する方法だと、事務負担が大変ではないですか？

⇒ 確かに事務負担の増加、後々の財政影響へのインパクトもありますね。今回はシンプルな提案を目指し、「一括納入制度」の検討は凍結いたします。

(8) 会費納入方法2は、任意の納入者比率を高めるため、会費の設定を低く抑えたもののようですが、納入会費に対する手数料のウェイトが高くなりますね。対策が必要と思います。

⇒ ご指摘の通りですね。会員が自身の取引銀行に「口座振替（自動引き落とし）」の事前申請をして頂ければ手数料はかかりませんが、会費は任意の納入を基本にしていますので、この方法はなじみませんね。従って、アンケート内容を納入方法1, 2（+現状のまま）を選択するものではなく、会費納入方法は方法1に絞り、年間の必要会費収入、支出項目・予算を明確にした上で、会費額を設定いたします。また、喜ばしい事です。が、会費納入者数が予想以上に達し一般会計の繰越金に余裕が生じた年度は、会費納入を見送る年度を作るなど、柔軟に対応したいと思います。

(9)「会費納入制度」導入後の年間の各種活動経費の想定（上記のコメントに関連して）の問い合わせがありましたので、以下に示します。

<制度導入後>

収入の部

項目	金額
一般会計	
繰越金	(¥300,000)
年会費 (2千円 * 160名)	¥320,000
活動支援金	¥20,000
小計	¥340,000
特別会計	
FMT [®] 以代貸付金回収分	(¥80,000)
小計	¥0
合計	¥340,000

支出の部

項目	執行額
一般会計	
運営経費 (HP維持/委員会・総会経費/委員交通費)	¥75,000
パーティー案内費	¥3,000
会員弔事費 (臨時)	¥20,000
他大学OB会等交際費 (臨時)	¥30,000
現役合宿・強化練差入れ	¥12,000
会費納入者インセンティブ経費	¥50,000
総会・懇親会現役補助 (2千円 * 25名)	¥50,000
次年度繰越し予定金	(¥300,000)
小計	¥240,000
特別会計	
現役支援積立基金 (積立目標; 10万円)	¥20,000
FMTレス支援積立金 (年4万円 * 7回)	¥40,000
会員活動助成基金	¥40,000
小計	¥100,000
合計	¥340,000

現在、燕舞会会員は460名を超えています。年間活動経費を繰越金に影響の無い範囲で運用するためには、活動支援金を含めて、34万円程度の収入を確保したいと考えています。(会費納入にご賛同頂けない方についても、従来からある「活動支援金」へのご協力はお願い申し上げます。)

下表は任意会費納入者数と年会費の関係を示したものです。

会費納入者数と年会費の関係

会費納入者数 (人)	110	120	130	140	150	160	170	180	190	200
納入者比率 (%)	24%	26%	28%	30%	33%	35%	37%	39%	41%	43%
年会費/年間活動費 (円)										
¥3,000	¥330,000	¥360,000	¥390,000	¥420,000	¥450,000	¥480,000	¥510,000	¥540,000	¥570,000	¥600,000
¥2,500	¥275,000	¥300,000	¥325,000	¥350,000	¥375,000	¥400,000	¥425,000	¥450,000	¥475,000	¥500,000
¥2,200	¥242,000	¥264,000	¥286,000	¥308,000	¥330,000	¥352,000	¥374,000	¥396,000	¥418,000	¥440,000
¥2,000	¥220,000	¥240,000	¥260,000	¥280,000	¥300,000	¥320,000	¥340,000	¥360,000	¥380,000	¥400,000

年会費を、①一律3千円とした場合は、会員数の25%、②一律2.5千円（あるいは男性3千円、女性2千円）とした場合は、会員数の30%弱、③一律2.2千円（あるいは男性2.5千円、女性2千円）とした場合は、会員数の約3分の1、④一律2千円とした場合は、会員数の40%弱にご賛同を頂く、という関係になります。(今回のアンケートでは、性別による会費の変額も項目にいたしました)

以上、アンケートのご依頼に際して、情報およびコメントを記載させて頂きました。会員各位におかれましては、アンケートにご回答頂くと共に、本会に期待するもの、本会がより活性化されたものになるには、等々ご意見を賜りたく存じます。